

住宅ローン利用者の実態調査結果

<住宅ローン利用者調査（2026年1月調査）>

（概要）

I 調査の概要

2025年4月から2025年9月までの間に実際に住宅ローンを利用して住宅を取得された方を対象に、利用した住宅ローンや金利リスクに対する意識等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2026年1月7日～1月20日、回答数：1,237件

II 調査結果の主なポイント

< > は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1. 利用した住宅ローンの金利タイプ <p. 8>

－「変動型」が最も多く75.0%、2025年4月調査より4.0ポイント減少－

「変動型」：75.0%（2025年4月調査比 ▲4.0ポイント）

「固定期間選択型」：14.9%（2025年4月調査比 +2.7ポイント）

「全期間固定型」：10.1%（2025年4月調査比 +1.3ポイント）

2. 今後1年間の住宅ローン金利の見通し <p. 18>

－「現状よりも上昇する」が73.7%、2025年4月調査より8.0ポイント増加－

「現状よりも上昇する」：73.7%（2025年4月調査比 +8.0ポイント）

「ほとんど変わらない」：17.1%（2025年4月調査比 ▲6.1ポイント）

「現状よりも低下する」：2.3%（2025年4月調査比 +0.5ポイント）

「見当がつかない」：7.0%（2025年4月調査比 ▲2.3ポイント）

3. 住宅ローンの金利リスク理解度<p. 19>

－金利リスク（将来、金利上昇した場合に、返済額がどれくらい増えるか）について、

「理解しているか少し不安・よく理解していない・全く理解していない」と回答

している方の合計が52.0%－